

令和3年12月10日

議員定数等調査特別委員会

阿久根市議会

1 会議名 議員定数等調査特別委員会

2 日時 令和3年12月10日(金)

午前 9 時 5 6 分開会

午前 1 0 時 9 分閉会

3 場所 議場

4 出席委員

岩崎健二委員長、牟田学副委員長、竹之内和満委員、
川上洋一委員、濱門明典委員、白石純一委員、
濱田洋一委員、竹原信一委員、仮屋園一徳委員、
中面幸人委員、木下孝行委員、濱之上大成委員、
山田勝委員、濱崎國治委員

5 事務局職員 次長兼議事係長 上脇重樹、議事係主任 松崎正幸

6 会議に付した事件

本市議会に適切な議員定数、報酬及び議員活動に関する調査について

7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

○本市議会に適切な議員定数、報酬及び議員活動に関する調査について

岩崎健二委員長

ただいまから議員定数等調査特別委員会を開会します。

本日は、今後の調査方法について委員の皆様から御意見をお伺いします。

まずは、調査の対象とする事項についてお伺いします。

主なものとして例示しますと、報酬について、定数について、政務活動費についてなどがあると思います。ただいま例示した事項も含めて、どのような調査を行っていくか御意見をいただければと思います。

御意見ありませんか。

山田勝委員

今委員長が言った項目について、まず鹿児島県内の類似市の状況はどうなのかというのを調べてほしいなあ。

岩崎健二委員長

ただいま山田委員から、報酬、定数、政務活動費などについて、県内の類似市町等の調査をしたいとの御意見がありました。

中面幸人委員

先ほど委員長が言われた議員定数、報酬、政務活動費等の項目について、例えば議員定数を15名から14名にとかいったように最初から減らすという考えではなくて、定数はどうあるべきものかを語り合ってから先に進めればどうかなと思っています。議員報酬についても、ただ議員報酬を減らすというのではなくて。その辺りを議員同士で議論した後で先に進めればと思うんです。

岩崎健二委員長

今、定数を増やすとか減らすとか、報酬を上げるとか下げるとかのそういう話は全く議論していないところです。定数についても報酬についても、今山田委員が言われた類似市町あるいは県内の各市の状況等を調査した上で、定数を増やすなら増やす、減らすなら減らす、報酬を上げるなら上げる、下げるなら下げる、政務活動費を復活させるならさせる、しないならしないなどは、最終的に皆さんの御意見をお伺いします。今は調査の方法を議論しているわけですので御理解いただきたいと思います。

竹原信一委員

調査方法なんですけれども、今阿久根市は人口が減っていつている。比べるのは、今、同じような所と比べるのではなくて、減ったときにどのようなまちの状態になるかと、そのことを併せて、将来的には人口に併せていかないかねと計算ができるような調査の仕方をしてもらいたいと思います。

岩崎健二委員長

調査をしてもらいたいではなくて、みんなで今から調査をするわけですから、他の人たちではなく自分たちで調査するわけですから御理解いただきたいと思います。

牟田学委員

前のときにも私が言ったのは、近隣のえびの市が結局、阿久根市と同様で、人口減少に伴い、今度の選挙で定数減になっていると思います。そういったことで、人口減少を踏まえた中で、先ほど山田委員が言われたように類似の具体的な例もあります。そこ辺りを調査対象にして、できれば意見交換などをしながらやっていけばいいのかなと思います。

岩崎健二委員長

今、県内において同じような特別委員会を設置している市もあるようですので、そういうところとの意見交換会もできればどうかなとは思っていますが、そこら辺も含めて皆さんの御意見をいただきます。

仮屋園一徳委員

山田委員の意見に賛成なんですけれども、近隣に県外もあるかもしれませんので、県外というのを入れていたほうがいいと思います。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

白石純一委員

項目については先ほどの委員長が例示された3つについて進めるということだと思います。またそれ以外に、調査の中で関連して必要な項目が出てくるかもしれませんので、そのときは追加するということだと思います。

調査の方法ですが、今、各委員がおっしゃられた県内外の比較的小さな市の状況と比較するためにデータを集めるということも必要かと思います。4年前の記憶をたどりますと、確か西日本で例えば5万人以下の市の状況のデータをいただいたような記憶があります。そして、4年前に議論したことは、議会としての一貫性という意味からも参考になると思いますので、4年前の会議録を、あれに入っているんですかね、できれば皆さんでシェアすることを調査の一環としていただければと思います。

濱崎國治委員

議員報酬、あるいは議員定数等をするとき、これまで区長会の役員の方との意見交換会、意見も聞いているんですけれども、それもやっぱり入れるべきなのかなという気がいたします。議員ばかりで決めたというのではなくて、そういう民意も伺ったんだとするためには、区長会の役員の方の意見等も聞くべきではないかなという気がします。

濱門明典委員

選挙というのは4年に1回ですよ。再来年が阿久根市の市議会議員の選挙がありますよね。4年ごとの人口推計を見ながら何年には議員を減らさないかなあと、人口推計を見ながらの議員定数を考えたりですね、そうしたときに給与問題にしても、そこらのところを含めて検討していったならどうだろうかと思います。

岩崎健二委員長

今、濱門委員が言われましたが、それぞれの考え方があると思います。いろんな調査をした上で、それぞれの意見を最終的に聞くということにしたいと思いますので、今の濱門委員の意見はその時点で言っていいただければと思います。

白石純一委員

4年前の会議録を詳しく見れば多分出ていると思うのですが、4年前、私が市民アンケートも調査の一つとして有効なのではないかということ提案したんですが、4年前は選

挙までに非常に時間がないということで恐らく見送ったのではないかと思いますので、今回は期間がありますのでそれも検討すべきかと思います。

岩崎健二委員長

4年前の調査方法等の議論の中も含めて、今回、また後で4年前の議事録等も精査したいと思います。その中で皆さんに提示できるものがあれば提示したいと思いますが、市のホームページにもあがっていますので、各自確認してください。また、アンケートを実施するということになれば、それなりの予算措置も必要かと思いますが、そこらも含めて検討させていただければと思います。

山田勝委員

いろんな方法があると思いますけれども、とりあえずは、類似市及び近隣の市の状況を知ることが一番ですよ。なんでかと言ったら、阿久根の15人が適切か、あるいは報酬が適切かということも含めながらしないと。あまりにも市民ががんがん言うもんで、人間も減らせ、給料も上げるな、何もすんなど、これではなり手がいないから。素晴らしい人がなるためにはやっぱりそれなりのものをせないかんからね。だから近隣の市及び近いところの資料を集めることがまず一番だね。その次に、進まない。

岩崎健二委員長

ただいま出ました事項について、具体的な調査方法について、何か御意見があれば伺います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それではただいまお伺いしました御意見について、一旦、委員長でお預かりさせていただき、整理した上で、あらためて、進め方などについて協議していただきたいと思います。が、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

以上のことから、次回の本委員会の開催については、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で本日の議員定数等調査特別委員会を散会します。

(散会 午前10時9分)

議員定数等調査特別委員会委員長 岩 崎 健 二